

各関係機関長 殿

岡山県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について
病害虫発生予報第1号を下記のとおり発表したので送付します。

平成23年度病害虫発生予報第1号

平成23年4月7日

岡山県

予報概評

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	作物名	病害虫名	発生時期	発生量
麦類	赤かび病	並	やや少	タマネギ	べと病	—	並
モモ	灰星病 カメムシ類	並 並	やや少 少	イチゴ	ハダニ類	—	並
イチゴ トマト ナス レタス	灰色かび病	—	並				

1 普通作物

(麦 類)

(1) 赤かび病

予報内容

発生時期 並

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 麦の生育は全般的に平年並である。

イ. 4月1日の1か月予報によると、気温は平年並、降水量は平年より少ないとされており、発生量は平年よりやや少ないと予想される。赤かび病は出穂期以降の気温が高く、湿度が高いまたは降水量が多いと発病が助長される。

ウ. 植物防疫情報第5号（平成23年3月29日発表）参照。

防除上の参考事項

- ア. 本病の第一次伝染源である子のう殻の形成が盛んになるのは、日平均気温が13℃以上で降雨のあった直後である。子のう胞子の飛散が盛んになるのは、日最高気温が15℃以上で、日最低気温10℃以上、湿度80%以上または降雨直後である。この条件からみると岡山市の観測値では、3月は好適条件日および子のう殻形成好適日の出現はなかったが、今後の天候次第では注意を要する。
- イ. 国内産麦類の検査規格では、赤かび病による被害粒が10,000粒中5粒以上混入すると「規格外」となる。

2 果 樹

(モ モ)

(1) 灰星病 (花腐れ、芽枯れ、枝病斑)

予報内容

発生時期 並
発生量 やや少

予報の根拠

- ア. モモの開花時期は、ほぼ平年並である。
- イ. 4月1日の1か月予報によると、気温は平年並、降水量は平年より少ないとされており、発生量は平年よりやや少ないと予想される。

(2) カメムシ類

予報内容

発生時期 並
発生量 少

予報の根拠

- ア. 4月～7月のチャバネアオカメムシ及びクサギカメムシ予察灯飛来数は、前年2月～5月のスギ・ヒノキ花粉飛散数との間に高い正の相関がある。岡山県における昨年2月～5月のスギ・ヒノキ花粉飛散数は、南部、北部ともに平年より少なかった。
- イ. 花粉飛散数を利用した予測式によると、本年4～7月の予察灯への飛来予測数は、チャバネアオカメムシは赤磐市で1頭未満(平年483.7頭)、津山市で21.8頭(平年327.5頭)、クサギカメムシは赤磐市で5頭(平年16.6頭)、津山市で97.5頭(平年198.0頭)であり、ともに平年より少ない。
- エ. 4月1日の1か月予報によると気温は平年並とされており、発生時期は平年並と予想される。

3 野 菜

(1) イチゴ、トマト、ナス、レタスの灰色かび病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- ア. 4月6日の巡回調査によると、発生量は平年並であった。
- イ. 4月1日の1か月予報によると、気温は平年並、降水量は平年より少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

(2) タマネギベと病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- ア. 4月6日の巡回調査での発生圃場率は25.0%で、平年（過去8年間の平均値23.8%）並であった。
- イ. 4月1日の1か月予報によると、気温は平年並、降水量は平年より少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

防除上の参考事項

- ア. 気温15℃前後で雨が多いと多発生しやすい。

(3) イチゴのハダニ類

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- ア. 4月6日の巡回調査によると、発生量は平年並であった。
- イ. 4月1日の1か月予報によると、気温は平年並とされており、発生を助長する条件ではない。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、
http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。

なお、これまでご活用いただいていたテレホンサービスは、平成22年度をもって終了いたしました。これまで、永きにわたり、多くのご利用を頂きありがとうございました。病害虫発生予察情報は、引き続き、上記岡山県病害虫防除所ホームページをご利用ください。

